

被災地と、みんなを結ぶ

2014年7月29日 No.29

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

〈第1弾〉
福島→
新潟へ

いよいよ
スタート！

東北の子ども応援わんぱくプロジェクト

連合の「東北の子ども応援わんぱくプロジェクト」がいよいよ始まりました。

このプロジェクトは、東北3県(岩手・宮城・福島)の被災した子どもたちを、全国の地方連合会で受け入れ、地元の特色をいかした諸活動(海遊び、名所旧跡見学、施設見学など)を行い、また連合加盟組合の職場見学等を通じて働くことの意義や労働組合について学んでもらいます。受入側の子どもたちと交流を通じて絆を深め、今度はその子たちに東北3県へ訪問してもらい、自然災害への防災の意義を学んでもらうものです。

第1弾は、7月25日～27日、2泊3日の日程で福島(相馬・南相馬)っ子が新潟を訪問しました。福島からは小学4年生から6年生が18名、新潟からは25名が参加しました。新潟トランス工場では車輛づくりの見学を、またやくみつる応援団長による似顔絵教室では、福島っ子と新潟っ子が互いに似顔絵を描き合っただけでなく、また海水浴ではスイカ割りをするなど、思いっきり楽しんでもらいました。解散式では、子どもたちから「海には震災後は1回も入っていませんでしたので楽しかった」「このプロジェクトのおかげで新しい友達ができたと感想を発表。秋の再会を誓い合いました。別れ際に、福島っ子から「久々に入った海は懐かしかった。ホテルからの眺めは、流されてしまった地元の眺めに似ていて少し昔の事を考えた」「海水浴が楽しかった」「ユニオニオン大好き」と言葉をもらい、連合の温もりが少しでも伝わったのではないかと、胸が熱くなりました。

次は、8月1日から3日に岩手っ子が静岡へ、8月2日から4日に宮城っ子が大阪を訪問します。皆さん、どうか引き続きエールを送ってくださいね！

主なスケジュール

- 1日目：福島からバスで新潟へ、新潟トランス工場見学、船で佐渡へ移動、佐渡で新潟っ子と合流
- 2日目：やくみつる応援団長の似顔絵教室、バーベキュー、海水浴、ゲームを通じて働く事を学ぶレク、佐渡っ子とお別れ式
- 3日目：ゴールドパークで砂金採り体験、トキの森公園見学、船で新潟へ、新潟っ子と解散式、バスで福島へ

★新潟トランス工場訪問



挨拶する齋藤連合新潟会長

各地を走る
電車づくりを見学

★やくみつる応援団長の似顔絵教室

ブルーの
Tシャツは
福島っ子、
オレンジは
新潟っ子、
黄色は大人



やく先生の授業
は知的好奇心
をくすぐられ
刺激が
いっぱい！

★佐渡の海



連合新潟・佐渡地協の皆さんがしっかり見守る中大はしゃぎ！初めてスイカ割りした子も・・・

★海をバックに記念写真

秋の再会を
楽しみに！



以上◆

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp